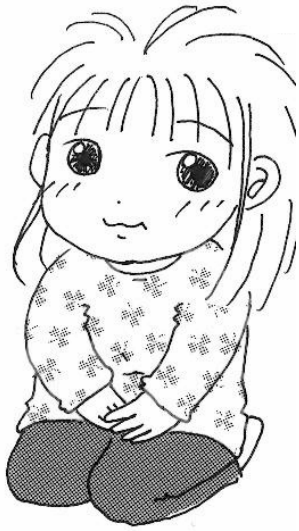
LIP in HIRAKATA

ＬＩＰ（りっぷ）は、枚方市民発の
福祉・教育・文化・環境・ボランティアなどの
情報を掲載する地域密着型情報紙です。

２０１８年８月号

自閉症は十人十色ですが、今、悩んでいる方の何かの参考になれたらうれしいし、悩んでいるのはあなたひとりじゃないよと言ってあげられたら……と思っています。



マンガ「明るい自閉症講座」
連載開始♪　P6

とれぶりんかぬりえブック、完成♪　P3

- 言いたい放題！　アッキー28号（28）
  災害避難所に思う、あたりまえのものとしての「権利」
- とれぶりんかぬりえブック、完成♪
- 新シリーズ「無駄話」（1）　他人の空似
- 新シリーズ「うたかた話」（1）　アイヌ語のお話
- 今月の五行歌
- 連載開始♪　マンガ「明るい自閉症講座」
- イベント紹介　編集局より／ＬＩＰ配布場所／会計報告

「**ＬＩＰ編集局**」　http://www.love-dugong.net/lip/

連絡先

メールアドレス：lip@love-dugong.net

TEL：070-5653-6913（18時以降）

郵便振替口座　00920-8-120259（ＬＩＰ編集局）

LIP とは……Local Information Paper の頭文字をとったものです。

言いたい放題！　アッキー28号（28）　災害避難所に思う、あたりまえのものとしての「権利」

６月18日大阪北部を震源とする最大震度６弱の地震が発生した。続いて７月５日から８日には西日本全域を豪雨が襲い、広島、岡山、愛媛に多くの死者を出した。

家屋の壁になだれこんだ茶色い泥の塊。逆さになって道路をふさぐ自動車。テレビに映る被災地の様子は衝撃的だ。着の身着のままで学校の体育館に避難した人々の姿を見ると、胸が痛む。

地震、台風、水害。災害が起こるたび、被災した地域の人々は学校の体育館等に避難して、プライバシーのない空間で何十日も不自由な生活を送ることになる。これは、アジアモンスーン地域に位置する「災害大国日本」に住む私たちの定めなのか。しかし、災害にあう可能性は近年高まっているのだ。もう少し何か策はないものか。

そう思っていた時、知人がネット上にある記事を教えてくれた。「自然災害大国の避難が『体育館生活』であることへの大きな違和感　避難者支援の貧困を考える」という、大阪の弁護士・大前治さんが書いた記事である（現代ビジネス２０１８年７月10日）。日本と同じ地震国であるイタリアの災害避難所の様子を伝えている。

記事によると、イタリアでは、国の官庁である「市民保護局」が避難所の設営や生活支援を主導する。２００９年４月のイタリア中部ラクイラ地震では、約６万３千人が家を失ったが、これに対して６人用のテント約６千張（３万６千人分）が設置された。テントは約10畳の広さで、電化されエアコン付きだ。但し、テントに避難したのは約２万８千人。それより多い約３万４千人は、公費によりホテルに避難し宿泊している。

やればできるではないか。イタリアでできて、どうして日本ではできないのか。

記事には、災害や紛争時の避難所について国際赤十字が提唱する最低基準（スフィア基準）が紹介されている。プライバシーを確保された適度の広さの生活空間、最適な快適温度と換気、必要なトイレの数等を規定しているこの基準を、日本の災害避難所が満たしていないのは明らかである。

これに対して、政府の対応は、スフィア基準を「参考にすべき国際基準」と紹介しているにとどまり、内閣府が作成した避難所パンフレットにも、国民が権利を有するという視点は見られない。むしろ国民は避難所でルールに従いなさいと言わんばかりの記述で、避難生活も生活再建もあくまで「自己責任」が原則、そんな政府の姿勢が見えてくる、と大前さんは書いている。

要は、政府がどちらを見て、何にお金を出しているかということだろう。被災者の生活再建か、それとも復旧事業に参画する企業の利益を考えるのか。東日本大震災の復興事業で、「本当に被災地域の願う事業か」「土木建設事業をやりたかっただけではないか」という疑問が多く発せられた。それと同じこと。

私たちは、もう少し自分たちのあたりまえの権利を意識し要求すべきではないのか。この国の国民は皆、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有しているはずだ。

たとえば、「子どもの貧困」。親にお金がないから一日一食、ガスが止められお風呂に入れないなんて、そんなことが起こるのがおかしい。生活保護を利用する資格があるのに利用していない人の割合が約８割。これでは社会のセーフティネット（安全網）として機能していない。なんでみんな我慢するのか？憲法で保障されている「私の当然の権利」だ。主張しなくてはいけない。

そんなことを思っていると、数日後今度は新聞で、段ボールベッド活用の記事を読んだ。今回の豪雨の被災地に、自治体との協定に基づいて、約４千台の段ボール製の簡易ベッドが西日本段ボール工業組合から送られたそうだ。特に倉敷市では全避難者分約２千４百台が届けられ、「雑魚寝」が解消、避難した高齢者の健康回復にも役立って、たいそう喜ばれているという。

また、段ボールベッドは、大阪府北部の地震の被災地にも導入された。ただ、利用されたのは一部だったということ。ベッドの存在を知らず希望しなかった、「非常時は不便が当然」と運営者が使わなかったとは、なんとももったいないこと。

「もっと私たちを大切にしてほしい」と私たちは言っていいのではないか。

「私たちを大切にしてくれる人を、選挙で選びます」と公言し行動すれば、その日から日本は変わるに違いない。どんな時にも誰もが安心して生活できる社会が実現するはずだ。私は声をあげていきたい。

（著者プロフィール）　パート勤務の主婦。自閉症を持つ成人した息子がいます。市民活動、文化活動にも励んでいます。

ついに、とれぶりんか夢のオリジナル列車、発進！！！

とれぶりんかイラスト部の作品をとれぶ出版部が一冊の手作りぬりえブックにまとめ、頒布開始しました♪

１５作品を載せたオリジナル塗り絵本です。ぜひ手に取って見てください！

以下、とれぶりんか代表・バルタンＸ（中川さん）による紹介文です。

出版部から小林クン（左）に完成品引き渡し

マンガ、イラスト、鉄道をこよなく愛する仲間たち！　注目！！

「みんなでつくる学校とれぶりんか」は、2003年 11 月にできた〝みんなでつくる〟フリースクール。不登校やひきこもりの仲間たち、障害をもった仲間たち、さまざまな事情から社会的な生きづらさを抱えた仲間たちと横につながって支え合う仲間たちの居場所として誕生しました。

マンガやイラストや鉄道への愛情を支えに集まってできたのが、イラスト部（マイ鉄）です。少しでも、こうした仲間たちに陽のあたる場所を作ろう、自立への第一歩としてつながって行ければという願いを持って誕生したのが、この「とれぶりんかぬりえブック」です。

同じ痛みを持つ人たちへの想い、被災地の列車やそこに息づく人たちへの想い、いろんな想いがメインキャラクターの「とれぶぅ君」「りんかちゃん」「まいかちゃん」がおともをしまして、皆さまにお届けします。

皆さまの熱い想い、ご乗車を心よりお待ちしております。

【小林クンの紹介】

イラスト部のキャプテン小林稔さんは、中学生になりたての頃、ひどいいじめを受けて、学校へ通えなくなってしまいました。それ以来、学校というものに参加することはありませんでした。

傷ついた心を癒してくれたのが、銀河鉄道９９９の絵を描くことでした。そんな時に出会ったバルタン先生に、もっといろんな列車を描いたらどうだと言われました。それが、小林クンのオリジナル画の誕生の瞬間でした。

小林クンは、列車の一コマ一コマに想いを込めて、同じ痛みをもつ人たちへ届けようとしてきました。

【とれぶりんかぬりえブック】
Ａ４サイズ：５００円　Ａ５サイズ：４００円
印刷・製本：とれぶ出版部 books@love-dugong.net
問合せ先：090-4289-5317（中川）

【小林稔　作品展】
◆８／１３～８／２６　御殿山美術センター　ギャラリー展
◆９／９　10時～15時　ひらかたＮＰＯフェスタ
◆１０／７　10時～15時半　寝屋川ふれあいフェスタ

★新連載★

「無駄話」（１）
他人の空似

世の中には自分と瓜二つの人が３人居ると言われる。考えてみると、一卵性双生児でない限り、何十億の人類の中の３人だから顔も体格も年齢もそっくりな人間なんて皆無に等しい訳である。もし、そんな人と出会ったらどんな気持ちになるだろう、と考えてみた事がある。その人物がもし大富豪だったら、犯罪者だったら、――これは全く無駄な考えに過ぎない。

万博が終わった翌年、私は気の置けないゴルフ仲間３人と四国へ遊びに行った。丁度その３か月前、東京から転勤してきた友人が運転する品川ナンバーの黒の大型セダンでの旅は快適だった。先ず神戸からフェリーで高松へ渡り、その夜はＴホテルで一泊し、翌日Ｓカントリークラブでゴルフを楽しみ、それから松山の道後温泉に行くスケジュールだった。当時、全国的に大変なゴルフブームで、万博記念サービス券がまだ発売されていたので、一ラウンド５千円でゴルフが出来た。Ｓカントリークラブを予約したがスタート時間は当日でないと保証できないという混みようだった。しかも、プレーは９ホールに制限されるかも知れない状態だった。

ホテルに着いてチェックインシートに記入しようとした時、最初の異変が起こった。フロント係の顔に緊張が走り、彼はマスターらしい年配の係員を呼び出して、なにやら打ち合わせを始めた。私達４人は、派手なゴルフウェア姿だったので、宿泊を拒否されるのかと思った。やがてマスターは私に一礼して「チェックインシートは当方で記入しておきます。客人としてのお忍びですね、部屋は二つ用意します。ご案内します」と言ってカウンターから出てきた。マスターの指示で４人の係員が素早く私たちのバッグを持ち、エレベーターに案内した。彼らがドアを開けた部屋は、応接間を備えたスイートルームだった。

「ちょっと待った、私達は一泊二食付き１人１万５千円の予約だよ。とんだ間違いだよ」。私は慌ててマスターを制止した。

「分かっております。どうぞ御遠慮なく」と言ってどんどんバッグを運び込んだ。そして、「夕食と明朝のお食事はこのお部屋に運びます。メニューはお任せ下さい」と言って出て行った。４人は何がなんだか分からず、思わず顔を見合わせて沈黙した。どうやら私が誰かと間違われているらしい。友人達は、「鶴さん、高松の有名人か？」と疑問をぶつけてきた。勿論、私は有名人である筈が無いので即座に否定した。

その日の夕食は超デラックスなステーキフルセットだった。私は、自分は大阪の会社に勤務する只のサラリーマンである事を告げ、一体誰と思っているのか詰問したが、相手はにこりともせず「御冗談を」と言って全く取り合ってくれない。夕食後、高松の繁華街へ散歩に行った私達は、ハワイチェーンのキャバレーを覗いてみた。すると、そこでも店長が出てきてバンドの音量は良いかとか女の子はこれで宜しいか、とか大変な緊張ぶりである。やはり、誰かと間違われていた。翌日、Ｓカントリークラブに乗り付けてみると、フロントマンが私を見て、「組長、直ぐスタート出来ます」と緊張顔で促してきた。〝組長〟と聞いて私はとんでもない人物と瓜二つらしいと悟った。これは危険である、本人に出会うか、組の敵に見つかれば命が危ない。私達は９ホールでゴルフを中止し、道後温泉も諦めて大阪に帰ってきた。友人達に「鶴さん、人相悪いのかな？」とからかわれ、改めて鏡の中の自分をつくづく見直してみた。

文／画　鶴島昭雄

★新連載★

うたかた話（1）アイヌ語のお話

今までは「思い出話」として「浪華から大阪へ」と題して大阪が森小路辺りまで海だった時代から伝わっているいろいろなお話をして来ましたが、そのお話もだんだん種切れとなってきましたので今回からは、私が私の頭の中に持っているお話を書いてみたいと思います。

寺田寅彦やパンセの随想録の様な後世に残るような立派なものは書けませんが、「方丈記」の書き出しにも書かれていますが、

『ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。よどみに浮かぶうたかた（水の上に浮かぶあわ）は、かつ消えかつ結びて、久しくとどまりたるためしなし。』

この“うたかた”の様なお話を書いて行きたいと思います。

まず初めに「アイヌ語のお話」をしたいと思います。

私の高校時代の国語の教科書にあの有名な国語学者であり、「アイヌ語」の研究家である金田一京助先生が書かれた随筆「心の小径」が掲載されていました。それには明治４０年にサハリンのオチョポッカで樺太アイヌの言葉の調査をされた時、子供達を集めて、まず『何』と言う言葉を聞き出し、それから辺りに有るものを指しては『何』と尋ねてその言葉を記録されたそうです。そこでの４０日の滞在の間に、アイヌ語の文法や４０００もの語彙の収集に成功されたと書かれていました。

此の様に金田一京助はアイヌ語の発掘者であり、アイヌ語には“字”がありません、人から人に語り伝えられて来た、アイヌの叙事詩「ユーカラ」を文字に起こすと共にその解説と研究にその生涯を捧げられました。その結果アイヌ民族の歴史と伝説が印刷物として残るようになりました。

又我々が今一番お世話になっています「明解国語辞典」も金田一京助氏が監修されている事は皆さまよくご存じの事と思います。

その上彼は石川啄木とは親友であり金銭的な援助も色々とされており、その点についても多くの逸話が残されています。

そしてまた金田一一家は代々有名な国語学者や言語学者に成られています。

ご子息は金田一春彦氏、お孫さんは金田一秀穂氏です。

今回は金田一先生の事を書くのでは無く、日本語の中にはアイヌ語が多く含まれて居る事を書く予定でした。私がこのシリーズの初めに書いた、阿弓流為（アテルイ）、母禮（モレ）のお話の時にも書きましたが、時の政府と蝦夷との平和のためと、アイヌ民族の命を守るために、坂上田村麻呂と和平を結び、都に送られて来ましたが、そこで最初の約束とは異なり、敵将として枚方の地で処刑されたお話でした。

今回はその様なお話では無く、その後もアイヌ民族は時の政府から差別され、俘囚民族として隅っこに追いやられて来ました。

しかし言葉はその様な事とは関係なくアイヌ語の地名が北海道や東北ばかりでは無く広く西日本まで広がっているという事です。

青森県のあの有名な「三内丸山遺跡」の三内がアイヌ語の「サン・ナイ」で、「前に開けた・沢」という意味です。

この遺跡は当時の青森湾に向かって急に落ち込んだ沢を中心に営まれていたことが発掘調査でも確認されています。北海道の地図を開いてみますと稚内や幌別の様に「ナイ」や「ベツ」の付く地名が多く見られます。アイヌ語では「ナイ」「ベツ」は川や沢を表します。「ナイ」「ベツ」で表されているアイヌ語表現の地名は日本全国に多く散らばっていると言えます。此れは大友幸男氏の書かれた、「日本縦断　アイヌ語地名散歩」に詳しく書かれています。

それに依りますと、枚方の「樟葉」もアイヌ語ではないかと言われています、アイヌ語で「クスパ」は渡し場を意味します。今の樟葉の地形を見まして古くは淀川の渡し場が有った様にも見られます。また「パ」と「ハ」は変化しやすい音だと言われています。またこの本によれば、「古事記」に記されている神話の名前とアイヌ語の発音が類似していることが多いと書かれています。

アイヌ民族は今では北海道の一部にその生活様式を維持していますが、その昔は大きく南下していたのではないでしょうか？　その印が地名に数々残っていると思われます。

今回もPCの「Wikipedia」のお世話になりました。

「おしまい」

小田川徳男

ＬＩＰが選ぶ

今月の五行歌

「相方がロシアに涙置いてきまして
取りに行ってますねん」
遅刻の言い訳が
洒落てるけど
わかってる？　仕事やで

ちえこ

怒られた
でなく
怒らせてしまったと
・・・・・
嬉しい

坂口壽樹

破片に混ざった
巨大なホコリ
家事の手抜き
暴かれた
震度６

さなぎ

五行歌（ごぎょうか）とは……五行で書く短い詩。字数や季語などの制限はなく、自分のおもったこと、感じたことを、そのまま言葉にして書きます。枚方では、五行歌ひらかた歌会(連絡先：090-5893-5635)が、月一度、歌会を行っています。その作品の中から、ＬＩＰ編集局が「気になるうた」を選びました。

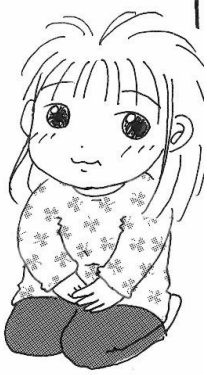
明るい自閉症講座（１）　作　くろねこ七桜

※歯と自閉症は関係ないです

★新連載★

はじめまして

私は枚方にかれこれ40年以上住んでいるぐうたら母ちゃんです。
このマンガを描こうと思ったきっかけは、娘の事をもっと知ってもらいたいと思って描きはじめて、娘の通う小・中学の先生方やクラスのお友達に読んでもらいました。
そこから、自閉症児のご家族の方、自閉症に関心がある方など、広く読んで頂いて身近に感じてもらいたい!!
自閉症は十人十色ですが
今、悩んでいる方の何かの参考になれたらうれしいし、悩んでいるのはあなたひとりじゃないよと言ってあげられたら…と思っています。
これから少しずつ連載させて頂きます。
どうぞよろしくお願い致します^^



くろねこ七桜

イベント・サークル・ボランティア情報

～【上映会】証言ドキュメンタリー『福島は語る』～

日時：９月９日（日）
場所：西宮市勤労会館ホール（兵庫県西宮市松原町2-37）
阪神西宮駅東へ10分・JR西宮駅南7分
入場料:1000円　学生（中学生以上）500円　小学生以下無料

《上映スケジュール》
12時30分～15時30分:1回目上映
15時30分 :土井監督トークとだるま森＋えりこさん歌と演奏
　　阪神市民放射能測定所報告
17時30分～20時30分:2回目上映
2時間51分【短縮版】
<監督からのメッセージ>
原発事故から7年が過ぎました。日本は、2020年の東京オリンピックに向けて浮き足立ち、福島のことは「終わったこと」と片づけようとしているように感じます。しかし、原発事故によって人生を変えられてしまった十数万人の被災者たちの心の傷は疼き続けています。
100人近い被災者たちから集めた証言を丹念にまとめました。その“福島の声”を、忘却しつつある日本社会に届けたいと願い、この映画を制作しました。
ぜひ、多くの方々に彼らの声を広げてください。
(ジャーナリスト、記録映画監督　土井敏邦)

阪神・市民放射能測定所（〒662-0916 西宮市戸田町5－21 つむぎの家内）
TEL：050-5317-4016　FAX：0798-34-2315
mail：shs.hanshin@gmail.com
ブログ：http://hanshinshs.blog.fc2.com

＊＊無添加石けん商品・手作り作品販売のお知らせ＊＊

・バザー　9/28(金) 10:30～
　　：市役所前の岡東町公園にて
・廃油回収　9/18(火) 10:30～12:00
　　：サプリ村野玄関前にて
・フリーマーケット　8/28(火) 10:00～
　　：障害者労働センターにて

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

障害者労働センター　　枚方市中宮山戸町10-12-101
TEL072-848-0508
ネットショップ　URL:http//paso0508.cart.fc2.com

NPOフェスタ　写真展・上映会

◆日時：９月９日［日］（１０じ～１５じ）
◆会場：枚方市民会館本館２階
写真展「　本当のフクシマ・オキナワ」無料（終日）
映画上映　①１０時半～　　②１３時～
「東日本大震災　東北朝鮮学校の記録（２０１１．３．１５～３・２０）」　コマプレス制作・６７分
全国からの支援物資を自分たちは２食にして１食分を近隣の日本人に分け与えたという事実を私たちは知らなくていいのだろうか
協力金　　前売り　８００円　　当日１０００円
連絡先　　イラク平和テレビ局ｉｎ ＪＡＰＡＮひらかた
　　手塚（０９０－４５６４－２１８３）

「枚方自閉症児(者) 親の会」　９月例会

＊日時　９月７日（金）10時～12時
＊場所　ラポールひらかた４階共用ルーム
＊連絡先　松崎 072-945-3014　鬼塚　072-841-3515

食と暮らしのマーケット

■日時：8月5日(日)
■会場：意賀美神社
■連絡先：ルポ・デ・ミディ　072-843-1525
■小さな子どももたのしめるシャボン玉やお絵描きなどのワークショップと人気のお店が集まるマーケットを開催します。和太鼓やウクレレのライブ、くらわんこもやってきます！夏休みの思い出に家族みんなで遊びに来てね。

関西芸術座公演　「トミーの夕陽」

大きなお陽様は、ゆっくり落ちていく。
五才のあんたは泣いてるカーサンの手を振りほどいてそう言ったのよね、トミー。

1998年公開、山田洋次監督作品「学校Ⅲ」の原作ともなった「トミーの夕陽」を舞台化。
寄り添い生きる母と息子、見守り包み込む人々との温もりとペーソスに溢れたものがたり―――

【会場】ABCホール
【日時】2018年9月7日(金)19：00
　　8日(土)13：00/17：00
　　9日(日)11：00/15：00
※全席指定席・当日受付先着順
※受付は開演の1時間前、開場は30分前です。
【料金】一般：3,500円
　　シニア(70歳以上)・学生・障がい者：3,000円
【チケットご予約】チケットのご予約は、「CoRichチケット」「ローソンチケット」「関西芸術座にTEL」のいずれの方法でもご予約いただけます。
【公演に関するお問い合わせ】
関西芸術座：TEL 06-6539-1055

LIPは、次の場所に置かせていただいてます。

☆ 各生涯学習市民センター・図書館・メセナひらかた 3F ウィル・ひらかたNPOセンター
☆ 枚方市ボランティアセンター ［ラポールひらかた内　072-841-0181］
☆ 子ども家庭支援センター ファミリーポートひらかた ［枚方市招提南町 2-50-1　072-850-4400］
☆ コミュニティーカフェ ラ テール ［枚方市西禁野 1-3-27 禁野口バス停前　072-848-0418］
☆ NPO法人 りりあん ［枚方市長尾元町 6-39-15　lilian@kcat.zaq.ne.jp］
☆ 婦人洋品店 シャルム ［枚方市南楠葉 1 丁目 2-16 くずは公民館向かい　072-850-1362］
☆ 喫茶 Dik Dik ［枚方市岡本町 8-17　072-846-5377］
☆ 街かどデイハウス 藤阪愛逢 ［枚方市藤阪元町 2-27-1　072-855-6978］
☆ 枚方市地域包括支援センター社協こもれび ［枚方市南楠葉 1-30-1 エクセレント辻ビル 203 号室　072-856-9177］
☆ 泉屋 楠葉店 ［枚方市楠葉並木 2-2-2　072-868-3060］
☆ WAVE34(ボウリング場) ［枚方市田口 4-11-8　072-848-0450］
☆ 身体障害者共同作業所 キッズ枚方コミュニケーションズ ［枚方市堤町 2-1-103　072-861-6360］
☆ 京阪総合会計事務所 ［枚方市西禁野 2-4-17 第5松葉ビル 301　072-805-5252］
☆ ヘアースタジオぱぺぽ ［枚方市南楠葉2丁目 4-3　072-850-9070］
☆ 枚方市役所(市民活動課・環境総務課・人権政策室) ［枚方市大垣内町2丁目 1-20　072-841-1221］
☆ 枚方市役所 津田支所 ［枚方市津田北町 2-25-1　072-858-1502］
☆ (財)枚方市文化国際財団 ［枚方市岡東町 8-33 市民会館内　072-843-1122］
☆ 枚方市総合福祉センター ［枚方市津田東町 2-26-1　072-858-5835］
☆ (社福)やなぎの里 精神障害者通所授産施設 ぱぴるす ［枚方市大字尊延寺 2200　072-859-0245］
☆ NPO法人パーソナルサポートひらかた ［枚方市中宮山戸町 10-12-105　072-848-8825］
☆ 自閉症療育センター Link ［枚方市岡東町 24-10 アイエス枚方ビル3階　072-841-2411］
☆ 紅茶専門店VIE ［枚方市南楠葉 1-1-34　072-856-2355］
☆ shot bar カボチャソース ［枚方市牧野下島町 14-22　072-809-7676］
☆ ポパイ商店 ［枚方市山之上2丁目 16-9　072-846-7232］
☆ えほんのお部屋ひまわり畑 ［枚方市香里ケ丘 12 丁目 6-28　090-6739-7064］
☆ クッキー工房おれんじはうす ［枚方市交北3丁目 3-10　072-856-8378］
☆ 陶器食器のお店 a new sprout ［枚方市堤町 2-14　072-846-9550］
☆ 雑貨／カフェ ルポ・デ・ミディ ［枚方市堤町 10-12　072-843-1525］
☆ 渦潮ベーカリー楠葉店 ［枚方市町楠葉 1-30-6　072-856-5420］
☆ 輝きプラザ「きらら」 ［枚方市車塚 1-1-1］
☆ 教育文化センター ［枚方市磯島北町 37-1　050-7102-3150］
☆ 三代目たくちゃん ピーコ ［枚方市牧野阪2丁目 7-30　080-3785-1728］
☆ MIKIHOUSE キャラメル ［枚方市牧野阪 2-9-15-105　072-857-6626］
☆ 株式会社 丸天酒店 ［枚方市牧野阪 2-5-23　0120-39-7003］
☆ MogaJogaDining 枚方宿 ［枚方市堤町 2-15　072-846-3535］
☆ カフェレストラン風鈴火山 ［枚方市牧野阪 2-5-19　072-856-3799］
☆ とくふうホーム ［枚方市大字尊延寺4592−24　072-858-4058］
☆ 音楽療法スペース　ウッドヴィレッジ ［枚方市牧野下島町 9-12　070-857-3540］
☆ みんなでつくる広場「ちょこっと」 ［枚方市楠葉野田 2-30-8　072-856-9439］
☆ スパバレイ枚方南 ［枚方市津田山手 1 丁目 24-1　072-808-4126］
☆ やすらぎの丘霊苑 ［枚方市大字尊延寺 4588 番 4　072-896-1212］
☆ 苺のいえ ［枚方市甲斐田町5番25号ウエストヒルズ102号 072-805-2660］
☆ ちいさいほいくえん みんなの里 ［枚方市楠葉並木 2-28-4　072-845-6814］
☆ 韓国茶が楽しめるカフェ「Cafe Cajjo」 ［西禁野 1-6-28　072-848-8481］
☆ くずはアートギャラリー ［枚方市楠葉花園町 15-1-Z302 本館ハナノモール 3 階］
☆ カフェ ル ポン ［枚方市高田2丁目 20-17　072-396-8785］
☆ 「市民の広場」ひこばえ ［枚方市大垣内町 2-8-27 シンエービル別館 A 室　072-846-8780］
☆ 街かどデイハウス秋桜 ［枚方市宗谷 1-1-1　072-859-3991］
☆ 明日花障害者作業所 ［枚方市西禁野1丁目 3-18　072-848-2324］
☆ 陽だまりの会 ［枚方市交北 2 丁目 7-15　072-809-0015］
☆ Lin Brun. ［枚方市牧野下島町 18-7　072-865-3514］
☆ カミュゥ ［枚方市牧野下島町 13-11　072-865-7310］
☆ Grand Table ［枚方市山之上 1 丁目 12−10　072-846-3808］
☆ 尊延寺公民館 ［枚方市尊延寺 3 丁目 3－16　072-859-0168］
☆ ひねもすぱんのかふぇ［枚方市堤町 10-24 鍵屋別館 1 階 090-5963-0590］
☆ まことの豆富 燈 本店 ［枚方市楠葉中町 1-5 072-855-6022］
☆ 雑貨&cafe くろねこ・くぅ ［枚方市片鉾東町 20-1　072-896-9690］

◇　◇　◇　◇　◇

☆ フレッシュベーカリー ラッキー ［寝屋川市早子町 18-1　072-821-0413］
☆ ヘアーサロンおおまち ［交野市私部 3-17-2 072-891-5024(予約優先)］
☆ 小規模通所授産所施設 ミルキーウェイ ［交野市天野ヶ原町2丁目 14-20］
☆ むく福祉会 ワークホーム れっつ ［綴喜郡宇治田原町贄田船戸 38-1　0774-88-5846］
☆ ベビーフェイスプラネッツ松井山手 ［八幡市欽明台北1 ソフィアモール内　075-982-3271］
☆ 「月桃の花」歌舞団 十三スタジオ ［大阪市淀川区木川西 3-4-20 2F　06-6885-8475］
☆ ふらっとねやがわ ［寝屋川市東大利町 2-14(市立産業振興センター5 階)　072-800-5789］
☆ ふれあいプラザ香里 ［寝屋川市香里南之町 19-17 フレスト香里園店1階 072-835-3335］
☆ 交野市役所内わいわいネット ［交野市私部 1 丁目 1-1］
☆ 和食「ふる里」 ［三重県伊賀市長田 2541-1 0595-21-4498］
☆ Cut wa Coconi ［交野市梅が枝 55-13 072-893-0020］
☆ 大阪府衛生会附属診療所 ［高槻市奈佐原 955　072-696-3351］
☆ 宇治田原社会福祉事務所 ［綴喜郡宇治田原町荒木天皇 2　0774-88-2394］
☆ 西宮男女共同参画センター ウェーブ ［西宮市高松町 4-8　0798-64-9495］
☆ 大東市立生涯学習センター アクロス ［大東市末広町 1-301　072-869-6505］
☆ フェルデンハウス北斗星 ［寝屋川市萱島東1丁目 16-15　070-5435-1965］
☆ 青年の家 ［交野市私部2丁目 29−1　072-892-7721］
☆ 大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)
［大阪市中央区大手前 1 丁目 3-49 06-6910-8500］

イラスト　表紙：平井由恵
Ｐ２：よし美

応援ありがとうございます♪

ＬＩＰ応援団

渡辺洋一郎さん

ＬＩＰ会計報告（前号以降）

金額(円)	内容
35,085	前号から繰り越し
2,000	寄付
17	銀行利息
▼420	郵送代
▼500	７月ロッカー代
▼4,120	７月号印刷代
32,062	計（次号へ繰り越し）

■７月号の記事に載っていた名古屋テレビ放送制作のドキュメンタリー、「防衛フェリー～民間船と戦争～」と「木魚とライフル～広がる自衛隊の民間人活用～」は、どこで見ることができますか？　と読者の方に聞かれました。私も不思議に思ったのですが、ユーチューブで検索すれば見ることができるようです。

　ところで、７月６日日本民間放送連盟賞テレビ部門　中部・北陸地区審査会「報道部門」において、同放送制作のドキュメンタリー「葬られた危機～イラク日報問題の原点～」が１位に選ばれたそうです。上の２作品と同じ制作チームがつくった55分の作品、機会があれば見てみたいものです。（T）

■「とれぶりんかぬりえブック」、ようやく完成して頒布開始しています。とれぶ出版部の手製本です。（w）

■今号から、新シリーズが３本も始まりました♪マンガも加わり、楽しい紙面になったと思います。今後ともＬＩＰをよろしくお願いします。

枚方市立中央図書館「大人の学校」
鶴島昭雄さんの戦争体験の話
日時：8月21日（火）13時30分より15時30分まで。
（質問時間30分を含む）
場所：中央図書館6階多目的室

ひらつー
「枚方市民にだけ」
読んでほしい情報サイト
枚方つーしん　検索